



【党声明】大阪都構想の否決を受けて

2015 年 5 月 18 日

幸福実現党

17 日、橋下徹大阪市長が掲げる大阪都構想の賛否を問う住民投票が実施され、僅差で否決されました。同構想に反対を唱えてきたわが党として、このたびの結果を歓迎するものです。

とはいえ賛否の拮抗からは、大阪のあり方に疑義を呈する民意の強さも見てとれます。市存続が決まったものの、大阪の成長力、競争力強化に向けた改革が待ったなしであることは論を俟ちません。

都構想の是非についてはさまざまな意見がありますが、わが党は特に道州制の導入につながることへの危惧を訴えてまいりました。

分権型国家を志向する向きもありますが、隣国の軍事的脅威を前に、中央集権体制の維持なくして外交・防衛力の強化を図ることはできません。

今後ともわが党は、行き過ぎた地方分権や、国家解体をもたらしかねない道州制の問題点を訴えるとともに、この国を世界の平和と繁栄に寄与するリーダー国家へと新生させるべく、新しい国造りに取り組む所存です。
